

やすサビ



議会だより

第164号

2021.2



安田小6年生による「町の未来プレゼンテーション」

令和2年12月定例会

一般質問 3氏が問う	2
選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙 ..	5
条例改正・制定	5
契約締結変更ほか	6

令和2年11月臨時会

条例改正 ..	7
---------	---

12月9日開会。選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙、条例改正・制定、補正予算等、9議案を審議、一般質問を行い、11日に閉会した。

一般質問 ここが知りたい

Q 路線バスへの赤字補てんの対策は
A 周辺自治体とも協議を行っていく



内川議員

問 本町では、本年10月にコミュニティバス(やすら号)2台による本格運行が開始され、2カ月余りが過ぎた。

これまでバスや鉄道等の公共交通空白地区の住民は、移動手段を主に自動車等に頼らなければならず、日常生活に支障をきたしてきた。やすら号の運行は、現行

限られた曜日ながらも、買い物等の不便さが解消され、「安心して生活を続けられる町」への取り組みの一助となっている。

一方で、既存の路線バス安芸く甲浦線、安芸く魚梁瀬線は、沿線市町村が乗車実績に基づき毎年、赤字補填を行っている。

本町の補てん額は、年々増加、直近の4年間で2900万円余りとなっている。事業者の営業努力だけでなく、関係機関との連携による何らかの対策が必要ではないか。



中川地域創生課長

答 安田町民であれば町内全域を定額で移動できるような仕組みを、コストをかけずに実現できる方策について関係機関と協議を開始している。

路線バスの利用増加については、沿線自治体との連携も不可欠であり、積極的な情報交換、協議を行っていく。

また、コミュニティバス運行の中で利用の低迷しているデマンド運行は、どのような課題があり、どうすれば利用しやすくなるのか、地域に出向いて率直な意見を聞き、利用促進につなげていく。



コミュニティバスと東部交通路線バスとのコラージュ



普及が求められる「マイナンバーカード」

民生生活にカード所有の有無による不平等を生じさせないため、早めによりマイナンバーカードの普及を進めていくべきではないか。

問 菅首相の所信表明にあつたとおり「マイナンバーカードの普及促進と、来年3月からカードと健康保険証の一体化を始め、運転免許証も令和6年度を目標に一体化し、社会全体のデジタル化に向け司令塔となるデジタル庁を設置する」として政府の関係省庁は国民に対し、急速にカードの普及促進に取り組んでいるが、本町においても来るべきデジタル化社会に適応し、住

問 菅首相の所信表明にあつたとおり「マイナンバーカードの普及促進と、来年3月からカードと健康保険



黒岩議員

証の一体化を始め、運転免許証も令和6年度を目標に一体化し、社会全体のデジタル化に向け司令塔となるデジタル庁を設置する」として政府の関係省庁は国民に対し、急速にカードの普及促進に取り組んでいるが、本町においても来るべきデジタル化社会に適応し、住

A **Q** マイナンバーカード普及拡大を図る考えは申請支援の体制整備を行う



手島総務課長

き町職員及び行政にかかる委員会・協議会など関係者の取得状況はどうか。
今後、本町としてカード普及拡大をどのように進めていく考えがあるのか問う。

答 現在の町職員の取得状況は全職員が取得しており、

今後は職員の家族や行政への関わりのある方に対して申請に向けた促進を図っていく。

普及促進は、国の取り組みとあわせ、マイナンバーカードの必要性について周知を図り、個人情報管理・保管の徹底について十分説明を行ったうえで、高齢の方でもスムーズな申請が行えるよう申請支援の体制整備も行っていく。



早急な県道整備が求められる「へんろ坂」

問 県道12号安田東洋線の焼山橋からへんろ坂付近は、本年に入って4件の交通事故が発生しており、危険箇所として地域住民からの改

善要望が多い。県に確認したところ、計画案はあるが実施計画までには至っていない。本町からも、住民の安心・安全な通行を確保す

A **Q** 県道整備の要望強化を図れ関係機関が一体となって一層強化する

るため、県に対し強力に改善要望を図れ。



今村経済建設課長

答 道路管理者である安芸土木事務所では、川側への拡幅工事を計画しており、河川法の許可手続きに期間を要しているが、用地買収が完了した区間から工事に着手することを確認している。

要望活動を行う際、地域の声や熱意が最も重要で、担当課はもちろん、地域に配置された職員が皆さんの声に耳を傾け、実現できるように庁内一丸となって取り組んでいく。

また、要望活動においても、関係機関が一体となって一層強化していく。

AQ 安田川周辺の住民の安全対策はどうなっているか 引き続き県に要望していく



太田議員

問 政府は令和2年11月に法律に基づく洪水時の浸水想定対象を大きな川だけでなく、中小河川に拡大する方針を固め、さらに台風19号の被害を受け法改正に着手した。

安田川上流から下流の中間が大型台風、大雨急流により山の土砂が流れ込み中州が高くなり、川底が浅く堤防がいつ決壊し、浸水するかわからず、住民の生命と財産の危機が想定される。

特に「間下地区、与床地区周辺」は大雨急流時には、浸水被害が大きいと想定され、高齢者や弱者が逃げ遅れ生命の危機を感じるが、これらの被害を最小限に

いとめる手立てはないか。
平成20年には、集中豪雨により東島中村地区も被害を受けている。
「天災は忘れたころにやってくる」というが、町の取り組みはどのようになっているか。



南副町長

答 過去の安田川氾濫被害をもとに水害リスクを住民に周知するため、平成28年度に安田川洪水ハザードマップを作成し全世帯に配布している。

また、安田川分水対策連絡協議会で護岸整備や※しゅんせつ等について強く要望しており、町としても引き続き県への要望を行い、河川増水時の避難対応につ

ても住民と一緒に考えていく。

※しゅんせつとは、水底をさらって土砂などを取り除くこと。



間下地区で安田川が氾濫（平成26年台風11号）

選 挙

◆選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙◆

内 容

選挙管理委員会委員4人と同補充員4人の任期が12月25日で満了となることから、後任委員について議会選挙を行ったもの。
指名推薦により、次の方々が当選された。

◎選挙管理委員会委員

濱口富貴子氏(西島)
豊永 均氏(安田)
西岡 博文氏(唐浜)
西岡 正彦氏(与床)

◎選挙管理委員会委員補充員(補充順位順)

西岡 基司氏(西ノ川)
内川 浩助氏(唐浜)
小川美知子氏(安田)
小松 芳恵氏(東島)

条例改正・制定

◆安田町国民健康保険税条例の一部改正◆

内 容

令和3年1月1日から個人所得課税の控除方法が改正されることに伴い、低所得者に係る国保税の軽減判定所得の改正を行うもの。

審議結果…全員賛成(可決)

◆安田町公園設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例の制定◆

◆安田川アユおどる清流キャンプ場設置及び管理に関する条例の制定◆

内 容

町内の公園※6施設の管理について、リニューアルオープンする安田川アユおどる清流キャンプ場に特化した管理条例を新たに制定し、残る5施設は現行条例を全部改正するもの。

※

○神峯山・空と海の展望公園

○安田川あいがもの里河川公園

○安田川ふれあい広場

○安田川はたるの里河川公園

○島石ピクニック広場

○安田川アユおどる清流キャンプ場

審議結果…2件とも全員賛成(可決)

◆町長等の給与に関する条例の一部改正◆

内 容

6月定例会で可決された本議案で、文言の不足があったため追加を行うもの。

審議結果…全員賛成(可決)



安田川ふれあい広場(東島)

契約締結変更

◆町道東西島線(東西島橋)
橋梁保全工事(明許)◆

内 容

現在、東西島橋で実施中の
橋梁保全工事に入札残金等を



耐震改修中の東西島橋

充当し、令和3年度に予定していた落橋防止装置を前倒しすることで事業効果を一層高めるため、請負金額2,583万2,000円を追加し、変更後の請負金額を1億3,955万円とするもの。

審議結果…全員賛成(可決)

補正予算

◆令和2年度町一般会計及び簡易水道特別会計補正予算◆

内 容

◎一般会計(第5号)

本年度事業に係る追加及び更正を行うもの。

補正の主な内容は、

○庁舎公衆無線LAN環境整備工事費の追加
220万円

○ふるさと納税関連費の追加
600万円

○生活バス路線運行維持費補助金の追加
806万円

○庁舎建設工事費の追加
1億5,300万円

○中芸広域連合介護保険国庫返還に伴う負担金の追加
908万円

○安芸広域市町村圏事務組合ごみ処理施設負担金の減額
445万円

○集出荷施設等緊急整備事業補助金(ミョウガ)の追加
1,350万円

○森林経営管理事業意向調査委託料の追加
200万円

○防災行政無線デジタル化整備工事費の追加
350万円

○スクールバス購入費の追加
426万円

○文化・保健センター空調改修工事設計監理、工事費の追加
4459万円
など

総額3億1,700万円追加

補正後の予算総額

45億5,390万円



図書室として改修される文化センター事務室

問 スクールバス購入の理由は。

補正後の予算総額
2億110万円

総額170万円追加

170万円

◎簡水会計(第1号)
○与床地区配水管移設工事
費の追加



県道改修に伴い簡水工事予定の与床地区

答 現行のスクールバスは大型免許が必要で、ドライバの確保に課題がある。

今回購入する10人乗りの車両は、普通免許で運転でき、現在の児童生徒数等に応じた効率的な運行も可能であることから、今後は現行の大型車1台と2台体制で運行する。

問 文化・保健センターの空調改修工事及び図書室等改修工事はすべて国庫補助金か。

答 今回の事業は、新型コロナウイルス感染症対策としての国庫補助金を使い、全額国庫補助金で行う。

今後にも有利な補助金・交付金を十分検討し、活用する。

審議結果…2件とも全員賛成

(可決)

議員提出

◆議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正◆

提出者 豊永土佐太郎

賛成者 小松 延茂

提案説明

6月定例会で可決された本議案で、文言の不足があったため追加を行うもの。

審議結果…全員賛成(可決)



1台が小型化されるスクールバス

第8回臨時会

令和2年11月19日開会、条例改正を審議し、同日閉会した。

条例改正

◆職員の給与に関する条例の一部改正◆

◆第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正◆

◆町長等の給与等に関する条例の一部改正◆

◆議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正◆

内容

国家公務員の給与改定状況を踏まえ、期末手当の支給月数を0・05カ月引き下げ、年間支給月数を職員4・45カ月、会計年度任用職員2・55カ月、特別職及び議会議員3・15カ月とするもの。

審議結果…全員賛成(可決)

—：議長

[illegible]

—：議長

[illegible]

議会のつぎ

11月

1日 高知県戦没者追悼式

(高知市)

5日 第3回ごめん・なはり線活性化協議会総会 (安芸市)

6日 安田川分水対策特別委員会

9日 浄化槽トップセミナー 高知

(高知市)

13日 議員協議会

16日 議会運営委員会

17日 町戦没者等追悼式

19日 議会広報編集委員会

21日 参議院議員高野光二郎「4

回目の国政報告会in高知」

(高知市)

25日 第30回安田川分水連絡協議

会 (高知市)

26日 総務教育常任委員会

第4回中芸広域連合議会臨

時

27日 議員行政実務研修 (高知市)

30日 産業厚生常任委員会

12月

1日 第3回安芸広域市町村圏事

務組合定例会 (安芸市)

3日 議員協議会

4日 議会運営委員会

7日 県民座談会「濱田が参りま

した」

8日 人権週間人権啓発活動

9日 議員協議会

議会運営委員会

11日 議会広報編集委員会

18日 第5回中芸広域連合議会定

例会

24日 安田小学校6年生地域学習

発表

25日 第3回安芸広域市町村圏特

別養護老人ホーム組合議会

定例会 (奈半利町)

1月

3日 成人式

8日 議員協議会

議会広報編集委員会

10日 安田町火鎮祭

14日 議会運営委員会

25日 中芸地区町村長・議長及び

商工会正副会長意見交換会

(田野町)

編集後記

昨年の12月に濱田知事が安田町を訪れ、町民の話を聞く会があった。

町民代表の方々が話す中で、安

田町社会福祉協議会の専門員の話に「中芸地区では介護の崩壊が始まっている。訪問介護サービスを行

う事業者がいなくなってきている」との言葉があった。事業所の

閉鎖や事業からの撤退である。赤字にならず、人員確保ができ

れば継続できるのだろうか。「介護保険制度」がある。40歳

以上は加入が義務付けられている。利用者は一部の例外を除き65

歳から。運営は市区町村、現場の仕事は民間事業者が行う。

今後5年先、10年先に自分たちが利用できるのだろうか、不安である。

国会議員として官僚には、現場職員・事業者共に『やりたい仕事』になるように制度を考えてほしい。

(編集委員 豊永)

訂正とお詫び

第163号4ページ「財産の取得」

「内で次のとおり誤りがありましたので、訂正してお詫びします。

「動産」→「不動産」

議会広報発行人

議長 小松 憲次

議会広報編集委員会

委員長 田之上 健太
副委員長 内川 一則
委員 小松 延茂
委員 豊永 土佐太郎
委員 黒岩 円

各常任委員会・特別委員会の所管事項調査

各常任委員会・特別委員会は、このほど所管事項調査を行い、その結果を次のとおり議長に報告した。

総務教育常任委員会

調査事項等

令和2年11月26日開催し、令和2年度の各所管主要事業実績について調査・協議を行った。

調査結果

◎「がんばるやすだ応援券」は、地域の消費を喚起し、地域経済の振興を図るうえで大変有意義な施策であった。今後も追加配布の協議検討を望む。

◎バス路線対策補助金の赤字補填額が年々増加しているが、地域コミュニティバスとの活用連携により、負担額の縮小に向け研究協議を図ること。



福祉館改修工事視察（産業厚生）

産業厚生常任委員会

調査事項等

令和2年11月30日開催し、令和2年度の各所管主要事業実績について調査・協議を行った。

調査結果

◎町内一円に遊休農地が増加傾向であることから、関係機関と連携し、早急な取り組みを行うこと。

安田川分水対策特別委員会

調査事項等

令和2年11月6日開催し、安田川分水の運用状況並びに安田川分水に関する諸対策事業について調査・協議を行った。

調査結果

◎近年、安田川の水量減少が著しく、水の復元、確保対策のため、水源地である国有林の再生管理について、所有者の国に対し強く要望すること。



安田川分水諸対策事業の河川改修視察

◎安田川分水諸対策計画（5カ年）により事業を実施中であるが、県に対し進捗速度を上げるよう働きかけを行うこと。